

DVR設定手順書

CNB RDDシリーズ



2015年3月 作成
2015年6月 更新

設定の流れ

事前準備

- ・DVRにモニターを接続してください。
- 以下は、ネットワーク接続を行う場合のみ必要
- ・DVRに設定するネットワーク設定値
 - ・IPアドレス
 - ・サブネットマスク
 - ・ゲートウェイ

設定手順

I .DVR録画設定

- 1.連続録画設定
- 2.スケジュール設定

以下は、ネットワーク接続を行う場合のみ必要

II .DVRネットワーク設定

- 1.ネットワーク設定
- 2.ダイナミックDNS設定(インターネットからアクセスする場合で、固定IPアドレスを利用しない場合)
利用できるダイナミックDNS名は、**〇〇〇.autoipset.com**になります。(〇〇〇は、お客様が決めた名前)
- 3.ネットワークタイムサーバとの日時の同期設定(同期するタイムサーバーを変更する場合のみ)
- 4.ライブ表示設定
- 5.ユーザ作成(接続ユーザに利用制限をかけたい場合のみ)

III.ルータの設定(インターネットなど外部のネットワークからアクセスする場合)

- 1.ポート設定

IV.HDxViewerの設定(専用ソフトを利用する場合のみ)





- 1.ソフトウェアのインストール
- 2.ソフトウェアの設定
- 3.接続確認

V.InternetExplorerからの接続確認

I . DVR録画設定

1.連続録画設定

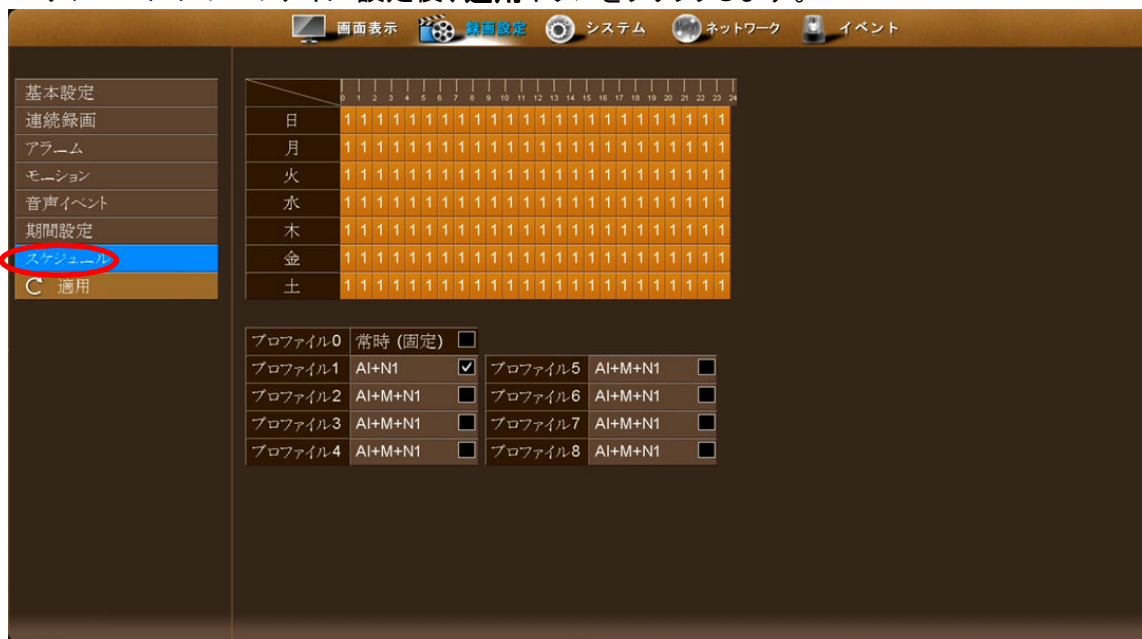
※モーションなどのイベント録画が必要な場合は、同梱の取扱説明書をご参照ください。

- ①取扱説明書に記載の録画時間表を基に録画日数、フレームレート、解像度、画質を決定します。
- ②マウスを右クリックして選択メニューを表示して、 ボタンをクリックしてください。
(この時、ログインの画面が表示されたら、ユーザー:ADMIN、パスワード:1111と入力してください。)
- ③設定メニューが表示されたら、**録画設定 - 連続録画**を選択し、**連続録画1**プロファイルの以下項目を設定し、左のメニューにある**適用**ボタンをクリックします。
 - ・解像度()
 - ・フレーム数()
 - ・音声録音の有無()



2.スケジュール設定

スケジュールを選択して、録画スケジュールの設定を行います。
スケジュールにプロファイル設定後、**適用**ボタンをクリックします。



プロファイルの編集

編集したいプロファイルを選択し、
そのプロファイルに適用する録画方法の
優先順位を設定します。



上記の例では、第1にアラームが設定されているため、アラーム発生時は、アラームで設定されている録画設定が適用されます。それ以外は第3に設定されている連続録画1の録画設定が適用されます。

スケジュールのプロファイルを変更

適用したいプロファイル番号を選択後、
変更したい時間帯をクリックすると
そのプロファイルが適用されます。

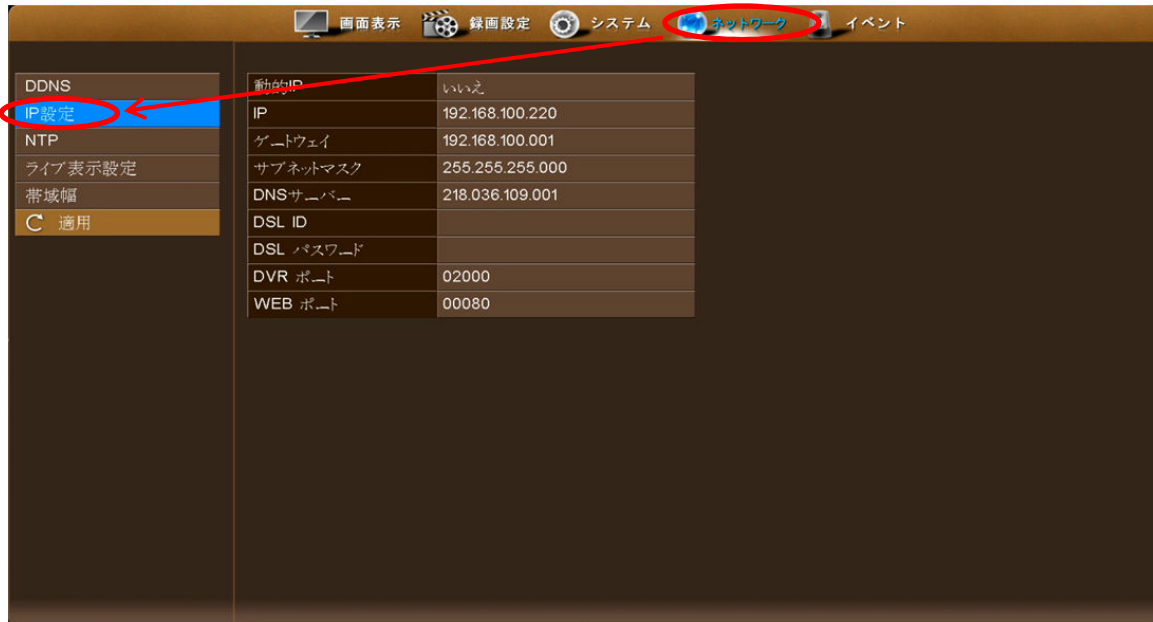


Ⅱ. DVRネットワーク設定

1.IPアドレス設定

ネットワーク - IP設定を選択し、以下の設定を行い、**適用**ボタンをクリックします。

- ・動的IP: いいえ
- ・IP: IPアドレス
- ・ゲートウェイ: ゲートウェイアドレス
- ・サブネットマスク: サブネットマスク
- ・DNSサーバー: DNSサーバーアドレス



2.DDNS設定

ネットワーク - DDNS設定を選択し、以下の設定を行い、**適用**ボタンをクリックします。

- ・ドメイン: ご利用になるドメイン名(〇〇〇.autipset.comの〇〇〇の部分)
- ・ユーザー認証: autoipset.comのサイトでDVRの状況を確認する場合は、チェックを入れます。
ユーザーID: autoipset.comに登録しているIDを入力します。
パスワード: 上記IDのパスワードを入力します。



3.ネットワークタイムサーバとの日時の同期設定(タイムサーバーと同期する場合のみ)

※出荷前にインターネット上のサーバと同期する設定しております。

他のNTPサーバと時間同期する場合のみ設定を行ってください。

ネットワーク - NTPを選択し、以下の設定を行い、適用ボタンをクリックします。

- ・NTP:SNTP(一般的なタイムサーバーと同期する場合は、SNTPを選択します。)
- ・タイプ:ドメイン(社内等のあるサーバ等をIPアドレスで設定する場合は、IPを選択します。)
- ・タイムサーバー:(タイムサーバーのアドレス)
- ・タイムゾーン:ソウル、東京



4.ライブ表示設定

ネットワークを介して遠隔閲覧する解像度を選択します。

ネットワーク - ライブ表示設定を選択し、以下の設定を行い、適用ボタンをクリックします。

解像度:D1,Max 6FPS、または、それ以下を選択

録画画質:(任意)

※960H解像度で録画している場合、解像度で録画解像度同様を選択すると、ネットワーク映像の表示が遅くなります。
このため、必ずD1,Max 6FPS以下を選択してください。



5. ユーザ作成(接続ユーザに利用制限をかけたい場合のみ)

システム - アカウントを選択し、以下の設定を行い、適用ボタンをクリックします。

レベル: 設定するアカウントを選択します

使用: ☒を入れます。

ID: ID名を変更する変更します。

新しいパスワード: パスワードを入力します。(1~8文字の数字)

パスワード再入力: 上記と同じもの

設定: 機器の設定を許可する場合は☒を入れます。

PTZ: PTZ操作を許可する場合は☒を入れます。

再生/検索: 再生/検索を許可する場合は☒を入れます。

ネットワーク: ネットワークからの接続を許可する場合は☒を入れます。

バックアップ: バックアップ操作を許可する場合は☒を入れます。

カメラ非表示: **画面表示-カメラ非表示**の設定を適用する場合は☒を入れます。

プリセット設定: PTZのカメラプリセット設定を許可する場合は☒を入れます。

システム終了: システムの終了を許可する場合は☒を入れます。

CH1~CH4/8/16: 表示する画面に☒を入れます。



Ⅲ. ルータの設定

1.ポート転送設定

ルータに以下のポート転送(ポートフォワーディング)を設定

ポート番号
TCP 80
TCP 2000

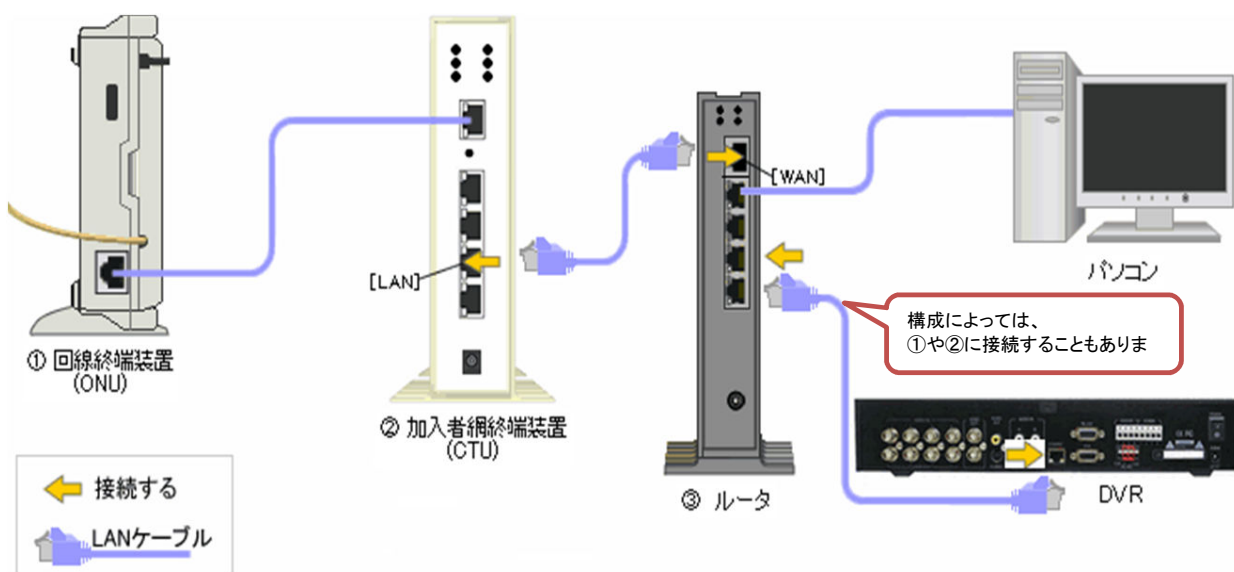
(DVRの[ネットワーク]-「アドレス」-「ポート」からポート番号を変更している場合は、変更したポートに設定します。)

具体的なルータのポート転送の設定方法については、ルータのマニュアルや以下のサイトなどを参考にしてください。

ポート開放方法: <http://www.akakagemaru.info/port/>

ポート開放ナビ: <http://27bit.com/router.html>

参考 DVRネットワーク構成図(光回線)



標準的な構成では、①回線終端装置⇒②加入者網終端装置⇒③ルータ⇒DVRの順で接続します。但し、機器によりすべての機能が一体になっているもの (PR-S300NEなどのPRシリーズ) や②加入者網終端装置と③ルータが一体になっているもの (RT-S300SEなどのRTシリーズ) があります。これらの機器は、PPPoEブリッジを「使用する」と設定する場合のみ、ルータが必要になります。(一般に一体型機器のルータ機能は、通信処理があまり速くない(スループットがでない)ため、多数のカメラをDVRに接続する場合は、ルータを設置することをお勧めします。)

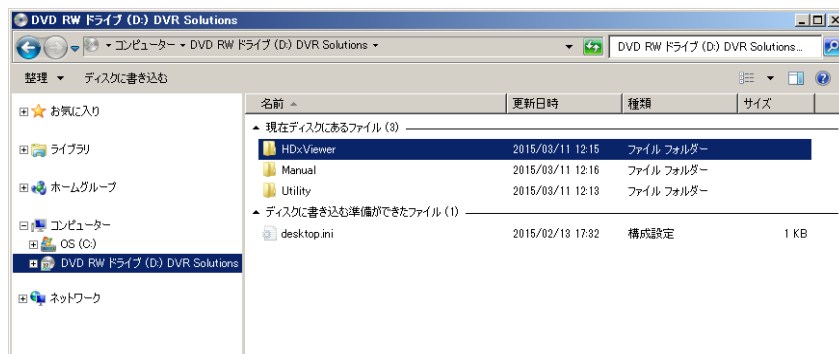
IV. HDxViewer設定

RDDシリーズのDVRは、HDxViewer 3.0.1.47以降で対応しています。

1. ソフトウェアのインストール

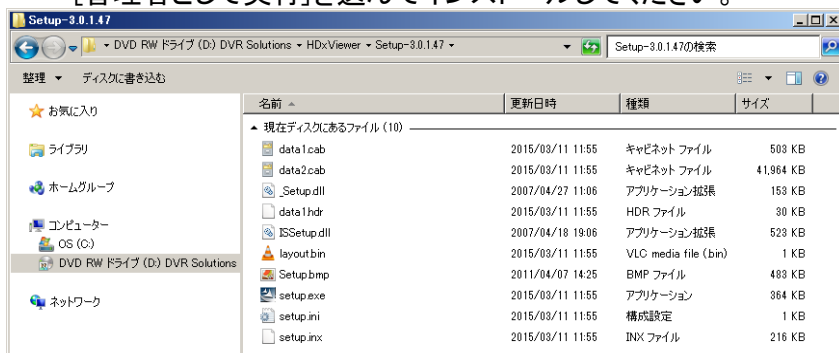
① 機器に付属しているCDをPCのCDドライブに入れます。

② CDドライブのフォルダをエクスプローラで開きます。

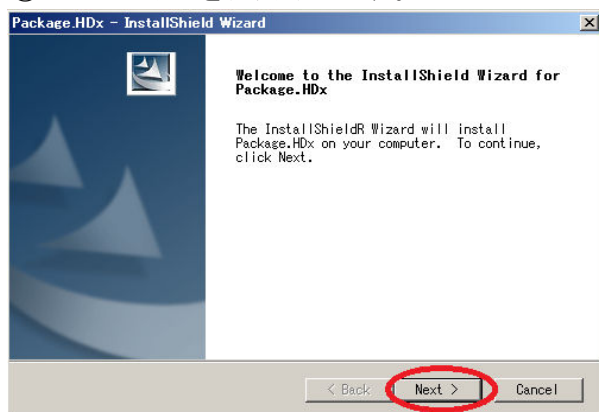


③ [HDxViewer¥Setup-3.0.1.47]のフォルダ内のsetup.exe*1をクリックします。

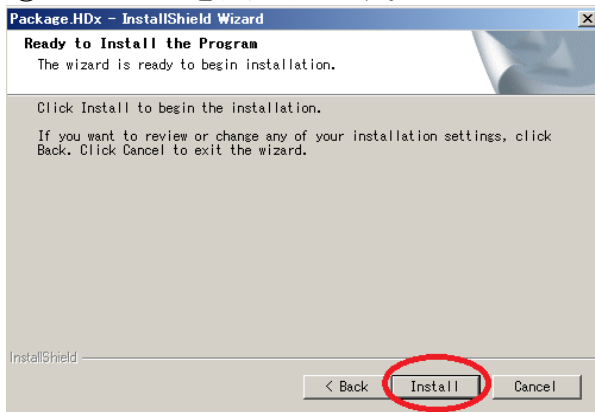
*1 Windows Vistaおよび7でインストールするときは、setup.exeを右クリックし、[管理者として実行]を選んでインストールしてください。



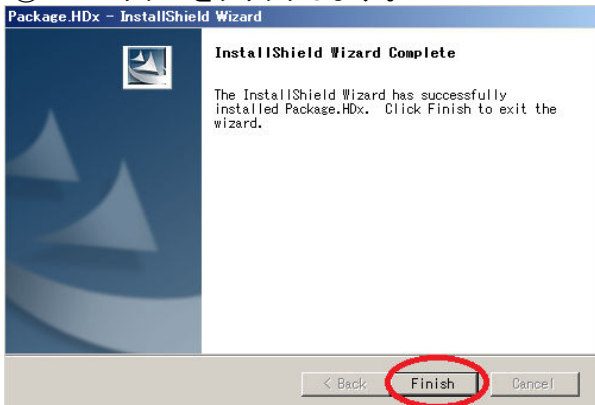
④ Next > ボタンをクリックします。



⑤Installボタンをクリックします。

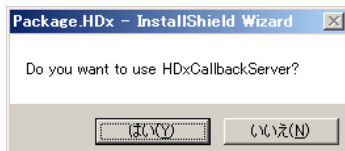


⑥Finishボタンをクリックします。



⑦HDxCallbackServerの利用確認のウィンドウが表示されるため、不要であれば、いいえ(N)をクリックします。

※ HDxCallbackServerは、HDxDVRのアラート等をPCで受け取るために利用するソフトです。



2.ソフトウェア設定

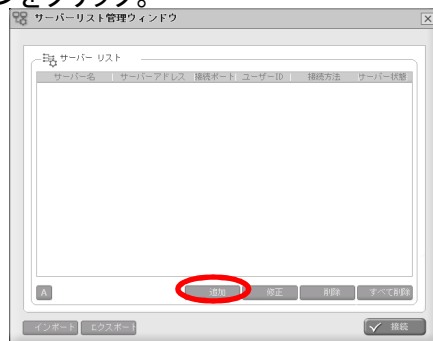
- ① デスクトップにある以下のアイコンをクリックして、ソフトウェアを起動します。
(デスクトップにアイコンが無い場合は、スタートメニューより起動してください。[HDx]-[HDxViewer])



- ② サーバーリストをクリックします。

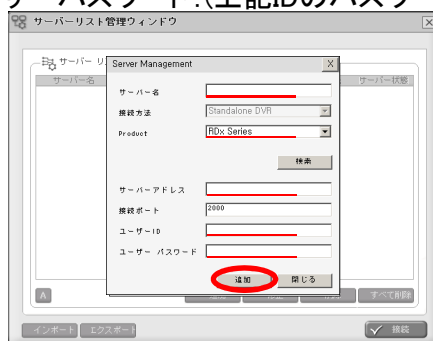


- ③ 追加ボタンをクリック。



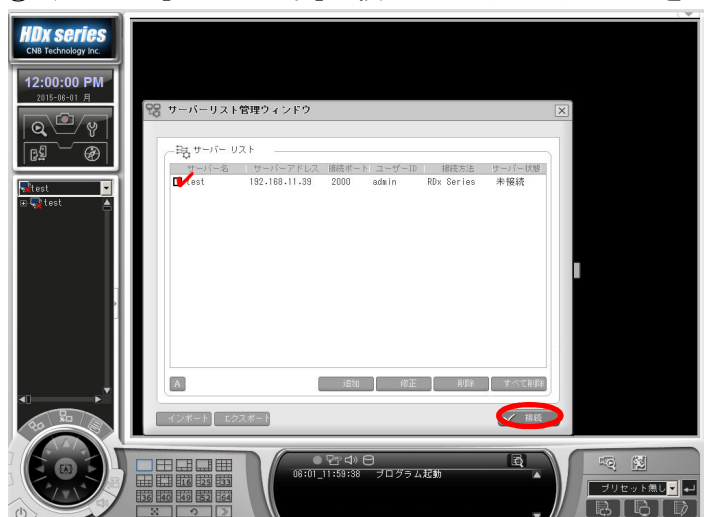
- ④ 以下の内容を入力して、追加ボタンをクリックします。

- ・サーバー名: (任意のわかりやすい名前)
- ・接続方法: Standalone DVR
- ・Product: RDx Series
- ・サーバーアドレス: (IPアドレスまたは、DDNS名)
- ・接続ポート: 2000
- ・ユーザーID: (DVRに登録されているID(adminなど))
- ・ユーザーパスワード: (上記IDのパスワード)



3. 接続確認

- ① 追加した[サーバー名]の横のチェックボックスに✓を入れ、**接続**ボタンをクリックします。

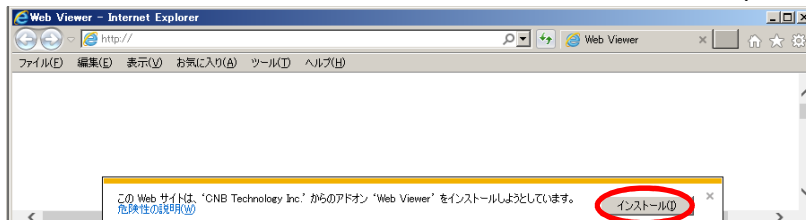


- ② カメラの映像が表示されたら設定完了です。
(DVRにカメラが接続されていないと映像は表示されません。)

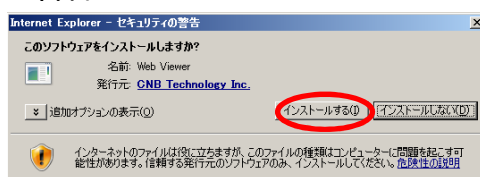


V.InternetExplorerからの接続確認

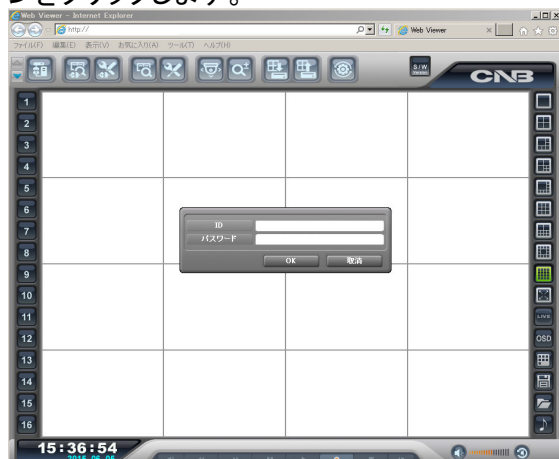
- ①InternetExplorerを起動しアドレスバーに「http://(IPアドレス)」または、「http://(DDNSホスト名).autoipset.com」と入力します。
初回はActiveXソフトのインストールが必要なため、Web Viewerをインストールしようとしています。
と表示されます。表示されたら、「インストール」ボタンをクリックします。
(インストール時にシステムドライブのルートにHE4000というフォルダが作成されます。
システムドライブに書き込み権限のあるアカウントでInternet Explorerを実行してください。)



- ②セキュリティの警告が表示されたら、「インストールする」ボタンをクリックします。



- ③ログイン画面が表示されたら、ID (初期:admin)とパスワード (初期:1111)を入力して、「OK」ボタンをクリックします。



- ④ログインに成功すると、映像が表示されます。

